

授業科目	英語教科教育法Ⅳ				単位	2		
履 修	選択	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語)		ナンバリング	EN34112J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP4-3 DP5-2			
担当教員	安海 和枝							
授業概要	<p>これまでに履修してきた専門教育科目や教職に関する科目等の中で学んだことを活かし、中学校及び高等学校に 教育実習に行ったときに、教師として自信を持って指導ができるようになるための準備を行う。また、生徒の 実践 的コミュニケーション能力の育成の手助けとなり得るような指導技術を身につける。</p>							
学生が達成すべき 行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種指導技術の基本が理解できる。</li> <li>2. 指導案についての基本を理解し、作成することができる。</li> <li>3. 目標に沿った授業を計画し、それを実施することができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合/ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口 頭、プレ ゼンテ ーション)	レポート 外の提 出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	30	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)	30		20	10			60	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	20		10	10			40	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種指導技術の基本を理解し、説明することができる。</li> <li>・指導案についての基本を理解し、目標達成のために効果的な指導案を作成することができる。</li> <li>・目標に沿った授業を計画し、それを実施することができる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種指導技術の基本が理解できる。</li> <li>・指導案についての基本を理解し、作成することができる。</li> <li>・目標に沿った授業を計画し、それを実施することができる。</li> </ul>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復 習時間 (分)
1	テーマ: 望ましい英語教師とは 英語教師の資質、英語能力、英語指導能力について 考える。また研修の必要性についても学ぶ。			講義 演習		予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成		90

2	テーマ: ICTとeラーニング 語学教育におけるICTの役割について解説し、効果的な利用の仕方について考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
3	テーマ: 教科書と教材研究 教材論を概観し、教材研究の意義、教材の評価、教科書の分析等の諸問題について考察する。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
4	テーマ: 文法の学習と指導 文法指導の理論的意義とコミュニケーション能力を養成するための文法指導の方法について解説する。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
5	テーマ: 語彙と辞書検索指導 学習者がいかに語彙数を増やし、それを「使える」語彙にしていけるかについて考察する。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
6	テーマ: 授業運営・教育実習 教師と生徒が互いに学び、啓発しあう授業の運営について考察する。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
7	テーマ: 授業の工夫① Warm-up と Review について、効果的な方法を紹介する。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
8	テーマ: 授業の工夫② 文法や文型の導入や練習の方法について、効果的な方法を紹介する。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
9	テーマ: 授業の工夫③ 文法や文型の導入や練習の方法について、効果的な方法を紹介する。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
10	テーマ: 授業の工夫④ 語彙の導入と指導、本文の読解指導について、効果的な方法を紹介する。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
11	テーマ: 授業の工夫⑤ 語彙の導入と指導、本文の読解指導について、効果的な方法を紹介する。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
12	テーマ: 授業分析① ビデオでさまざまな授業を視聴し、そこで起こっている学びについて考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
13	テーマ: 授業分析② ビデオでさまざまな授業を視聴し、そこで起こっている学びについて考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
14	テーマ: 学習指導案 複数の学習指導案を分析し、その授業から生徒がどんなことを修得できる可能性があるか考える。	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
15	全般についての総括、開発した教材の発表	講義 演習	予習: 当該部分の予習 復習: レポート作成	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	『教育原理』、『教育心理学』で学修した知識。			
テキスト	『新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第3版』望月昭彦 編著 (2018年)(大修館書店) 『現場で使える教室英語』石渡一秀 他著 (2011年) (三修社)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『小学校学習指導要領解説外国語活動編』(平成29年)(文部科学省) 『中学校学習指導要領解説外国語編』平成29年(文部科学省) 『高等学校学習指導要領解説外国語編』(平成30年)(文部科学省)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	自作の教材(語彙・文法など)を一つを開発、作成してもらいます。身近なところから、材料を見つけておきましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験、レポート、発表の内容については、授業中に指示をする。			

